

2025年度研究奨励賞のお知らせ

日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞 第6回 申請募集

多様な宗教研究の振興、若手研究者支援のために発足した「日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞」制度は、本年度（第6回）も7月1日～8月14日に募集を行います。本連合参加学会の会員であればどなたでも応募可能です。どうぞ貴学会の会員の皆様に広くお知らせくださいますようお願いいたします。

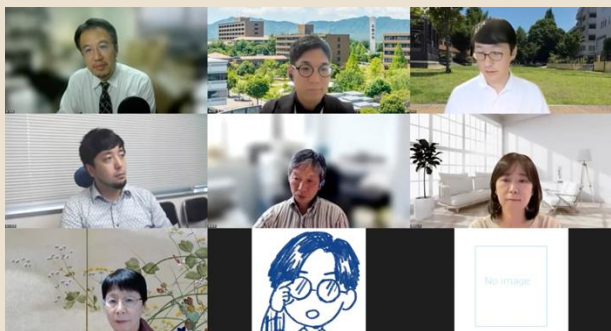
募集要項と申請フォームを[本連合HP](#)からダウンロードし、メールにて申請する方式です。

これまでの受賞者についてもHPをご覧ください。



ウクライナの野生生物保護区 Tarasiv Obriy 2024.12
Wikimedia Commons

昨年度の活動報告



毎年恒例の日本学術会議哲学委員会主催・日本宗教研究諸学会連合／日本哲学系諸学会連合共催の公開シンポジウムを、昨年度もオンラインにて10月26日に開催いたしました。テーマは「脳組織を人工的に作ることを考える～科学者と哲学・倫理学・宗教学者の対話から～」で、脳オルガノイドの倫理的問題が議論されました。本連合からは師茂樹氏（学術会議連携会員）が「仏教からみた脳オルガノイド」として発題を行いました。各発題者のレジュメを含む詳細な報告は[本連合HP](#)にてご覧いただけます。

日本学術会議に関して

- 日本学術会議法人化案が国会で審議されています（5月現在）。学術会議は総会を開催し、この案が学術会議のみならず日本全体の学問の自由・独立に影響を及ぼし得ると判断し、修正を求めました。本連合運営委員会は4月25日に学術会議の判断を支持する[声明を発表しました](#)。その後、案は衆議院で可決されましたが、附帯決議として、政府は、令和2年の会員任命拒否問題について、国民に説明責任を果たし、国民の信頼を得るよう努めるべきこと、また、学術会議の独立性を尊重すべきことが明文化されました。

お知らせ

貴学会のシンポジウム・パネルを応援します！

本連合参加学会が主催するシンポジウムや学会パネルを、本連合から（運営委員会が審議した上で）共催／後援します。事務局にご申請ください。

本年度の公開シンポジウムは対面開催です！

今年の学術会議との共催シンポジウムは、立教大学にて対面で開催する予定です。テーマは「分断化する社会の中で対話は可能か～ポスト・ソーシャルメディア時代の社会構築～」、日程が決まり次第、本連合HPでお知らせします。

発行

日本宗教研究諸学会連合事務局

office.jfssr2008@gmail.com

このNLは本連合のHPにも掲載しています